

ボランティア だより

平成27年4月23日

第 102 号

発行：大友恵愛園
ボランティアサロン

笑い、涙 感動をありがとう

突然ですが、家族の事情による転居に伴い、四月末で当園のボランティアを辞めさせていただきますこととなりました。

当園で皆さんと一緒に長く楽しく活動を続けたいと考えていただけに、誠に残念でなりません。苦渋の決断であることをご理解下さい。

平成二十二年一月、妻が介護予防センターの仕事が介護予防センターの仕事に変わったことになりました。ボランティア募集のお知らせ。妻の勧めもあり、取り敢えず入浴者の送迎を見学に

何った日が、何と活動初日になってしまいました。

あれから五年三ヶ月、たくさんの方々と出会い、笑いと涙と感動をいただきました。阿賀さん、花松さんをはじめ職員、介護士、入居者の皆さんには筆舌に尽くせぬほど、大変お世話になりました。誠にありがとうございます。本当にありがとうございました。

活動後の楽しいお茶懇、入居者の辛く悲しい想い出話に涙した日々。帰りに、入居者の皆さんの「また来てね」と手を振る姿に胸を熱くし、メンバーの

皆さんを思い浮かべながら作った『ボランティアだより』等々、全てが貴重な経験であり、忘れることが出来ません。

そして何よりも「誰かのために」と始めたボランティアが、結局は全て自分の為であることに気



づかされました。

拙く若輩者の会長ゆえに多々不行届きがあり、皆さんには大変ご迷惑やご苦勞をおかけしました。お許し下さい。

今後は、新会長のもと大いに力を発揮され、いつそう立派なボランティアサロンに発展することを期待しています。皆さんが、いつまでも楽しく生き生きと活動されることを心から願い、お礼とお別れのご挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

奥山 健一

